

# 育成センターだより

厚岸町教育委員会 青少年育成センター 令和2年10月 No.77

## ネットトラブル、特に『児童ポルノ』の被害者が増加しています！



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休校や外出自粛等の措置により、子ども達が家に居る時間が多くなりました。

そのため、パソコンやスマホでの SNS 等の利用時間も増え、全国的にネットトラブル、主に『児童ポルノ』の被害者が増加。

青少年が、顔の見えない相手にだまされたり、脅されたりして自身の裸の画像を「自撮り」で撮影させられた上、メールや SNS 等で送信させられ拡散などをされる被害です。

本人だけでなく、スマホや PC の利用の条件について、しっかりと家族で取り決めをし、ルールを守って楽しく利用しましょう。

※また、近年では児童生徒側から発信される「出会い目的」の SNS 投稿等も増加しており、これまでは対応が遅れてしまうことが多くありましたが、現在は法律が変わり、警察等のネットパトロールによりそうした投稿を発見した際は、注意や削除のメッセージが本人に直接送られるようになりました。

これから先、オンラインや ZOOM を利用した学校生活も充分考えられます。インターネットは正しく使えば、とても便利で楽しいものです。人としてのマナーやルールをしっかりと意識し、ネットいじめや匿名性を利用した他人を傷つける書き込みは絶対に止めましょう。

### 巡視補導活動をしています

- 厚岸町では、各学校の先生方にご協力を得ながら、町内市街地等の巡視補導を行っています。青色回転灯のついた車で巡回しています。



#### 【補導員】

厚岸小学校・・・大矢和磨先生、兼田博司先生  
真龍小学校・・・海老名弘光先生、高橋紀亜先生  
厚岸中学校・・・田中里美先生、一文字 稜先生

真龍中学校・・・岡田 真先生、長谷部公一先生  
翔洋高校・・・菊地 翼先生、住吉健太先生

よろしくお願ひします!

# 第70回社会を明るくする運動

## 「社会を明るくする一言」 コンクール入賞作品決定！

例年実施してきた『社明パレード』を新型コロナウイルスの感染防止のため中止し、今年は『社会を明るくする一言』コンクールを実施し、町内小中高校生の皆さんから406件ものご応募をいただきました！ たくさんのご応募、ありがとうございます！！

全ての作品を一覧化し、社明実施委員が審査員となり選考した結果、下記11点が選ばれました！表彰は、後日所属学校から本人に直接 賞状と記念品を贈呈いたします。

- ※【質問項目】 Q1. あなたが思う、「明るい社会」にするために1番大切だと思うことは何ですか？  
Q2. その理由は何ですか？（体験等でもOKです。）



### 最優秀賞

## 『 誰かと共有すること 』

厚岸中学校3年 古川 さら さん

【理由】嬉しいことや、悲しいこと、楽しいことを共有できる人がいるのは嬉しいから。  
1人より、みんなにとって、というのが大事だと思ったから。



### 優秀賞

※「大切だと思うこと」のみ紹介

- ちいさな「感謝」と「親切」を日常に。  
あたりまえ（翔洋高校 梅岡 真保さん）
- 偏見で決めつけない  
（厚岸中学校 茜 美鈴さん）
- みんなが一人に一人がみんなに、笑顔や勇気をあたえること。  
（真龍中学校 酒井 心愛さん）
- 後悔しない言葉を選ぶこと  
（真龍中学校 片野 愛夏さん）
- 私らしく  
（真龍中学校 小國 杏里沙さん）
- 他人を受け入れること  
（厚岸中学校 竹中 和香さん）
- かがやく未来を望み、大切な誰かの笑顔を想うこと  
（真龍小学校 毛利 珠菜さん）
- 分け合えば足りる うばい合えば足りない  
（翔洋高校 木村 優華さん）
- 朝は大きい声であいさつ  
（翔洋高校 福田 航 さん）
- 1人ひとりが互いを理解し合うこと  
（厚岸中学校 坂下 愛紗さん）

一生懸命考えてくれた作品はすべて、意味のある素敵なものばかりでした。  
ご応募いただいたみなさん、ありがとうございました！！

